



「この道」 詩：北原白秋 作詞：1925年 曲：山田耕筰 作曲：1927年



北原白秋

この道は いつか来た道

ああ そうだよ

あかしの花が咲いてる

あの丘は いつか見た丘

ああ そうだよ

ほら 白い時計台だよ →→→札幌の情景

この道は いつか来た道

ああ そうだよ

お母さまと馬車で行ったよ →→→南関の情景

あの雲も いつか見た雲

ああ そうだよ

山査子の枝も垂れてる

1885年（明治18年）柳川藩御用達の海産物問屋を営む旧家（現・白秋生家）に生まれる。
1891年（明治24年）矢留尋常小学校入学、1897年（明治30年）、柳河高等小学校より県立伝習館中学（現・福岡県立伝習館高等学校）に在籍、1904年（明治37年）早稲田大学に入学。
学業の傍ら詩作に励み、1909年（明治42年）処女詩集「邪宗門」を発表。2年後、詩集「思ひ出」を発表。名実ともに詩壇の第一人者となります。
その後も、「東京景物詩」「桐の花」などに代表される詩歌集、「とんぼの眼玉」、「赤い鳥」などの童謡集などさまざまな分野で次々と作品を発表。
「雨ふり」、「待ちぼうけ」、「からたちの花」・・・。
聴いたら誰もが知っている、今なお、語り継がれる作品を数多く残しています。
白秋の故郷柳川への思いは強く、20年ぶりに訪問した際には感激の涙を流し、また晩年に発表した、故郷柳川を舞台にした写真集「水の構図」では「水郷柳河こそは我詩歌の母体である」と述べています。
1942年（昭和17年）11月2日死去。享年57歳でした。

山田耕筰 1886年(明治19年)6月9日 - 1965年(昭和40年)12月29日)享年79歳

北原白秋と共同して数多くの国民的の歌謡、校歌等を創作した。全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）の入場行進曲の作曲者である。

北原白秋と山田耕筰の共作の代表曲

- ・ 歌曲集「AIYANの歌」「NOSKAI」「かきつばた」「AIYANの歌」「曼珠沙華」「気まぐれ」の全5曲
- ・ からたちの花・蟹味噌・この道・かやの木山の・六騎・鐘が鳴ります・松島音頭・ロシア人形の歌全5曲
- ・ 砂山・かえろかえると・酔模の咲くころ・ペチカ・待ちぼうけ・あわて床屋
- ・ 学校校歌や社歌も多数作ってる。

この道は 夢の道 キャラバン

1月18日～1月25日

2200kmのこの道は夢の道キャラバンスタートです。

